

# 鯖漁況調査

## (一) 趣 旨

前年季ライン設定に伴い清洲島を喪失して以来九州南西海域に新しい漁場求めて出張し9月末より相当の成果を収め脚光を浴びるに至った。この漁場は古くから甲木野港振楯のカジキ延縄船の活船としてサバを釣獲しており魚群の移動等については可成り知られていたのであるが、この海域のサバを目的として探業し可成りの成果を挙げ、一本釣としても企業的に十分成立することを始めて證明し、季ライン釣針により云霧に迷っていた鯖船に曙光をもたらしたのは、宮崎県又、オ3共和孔(39疋、60疋)であった。

当所では、前年度に引続き、此の海域の鯖漁況を調査、指導所によりに掲載し普及に努めた。

## (二) 方 法

鹿児島及甲木野港に入港する30疋以上の鯖一本釣船を対稱としたが、鹿児島入港船については南海区水研油津支所鹿児島駐在員の協力をお願いした。

## (三) 経 緯

### (1) 概 況

29年

(3 月)

2月は漁況不振で出漁船は少く中旬から3月上旬にかけて水揚げは閑散であった。3月中旬に至り27°-30' N. / 23° ~ 24° E附近で漁が窺られる様になり水温の上昇と共に漁況は活況となって来た。同時に各船は同海域に再び出漁し始めた。下旬漁場は主に27° ~ 28° N. / 23° ~ 25° E附近で水温1.6 ~ 1.9°の水帯であったが一部27°-30' / 27°-30' (水温22°内外)で好漁を続けた船もあった。一般に餌付よく一航海に3,000メから7,500メを漁獲している。

(4 月)

前月に引続き各船とも好漁をしている。漁場は大差はないがやゝ拡大され27° ~ 28° / 23°-30° ~ 25°附近で、好漁場は前月に比べやゝ東に偏している様で27°-30' / 24°-40'附近となっており、航海当り、2,000メ ~ 6,000メ、一夜最高2,800メというのも見られている。中旬漁況はやゝ下水となり一航海1,500メ、600メというのもあった。漁場水温は19° ~ 22°を示し前月に比べ3°内外高目となっている。

(5 月) ----- 上 旬

上旬は4月下旬と大差なく一航海4,000 ~ 5,000メで漁場は大差ない。中旬には最高9,000メというのもあり各船一夜に1,000メ ~ 1,500メ程

度、一夜最高2,500メとなっている。即平均操業日数5日として毎夜1,500メを釣上げ5日後には略万船という操業状態を示している。漁場が遠隔である欠点を補うためには短時日操業による万船を余儀なくされるが幸各船とも3日から6日の操業で大体所期の目的を達している様である。漁場は広範囲といつても、釣合好漁場は大差なくそのため出漁船の操業が幾分容易になるものと思はれる。勿論水温上昇期にある最近当海域の海況は時日の経過と共に変化しており、水温・潮流水色等漁況に関連する因子は多々あり最小限度の移動範囲を以て好漁を得るためには操業者の若極も大きいものと察せられる。それには経験はもとより高度の技術合理的な推断といったものが要請されるものと思はれる。

## 漁場区画別漁獲率

前例の通り漁場区画別漁獲率を算定して見た。尚石敷島片乗組員数操業日数漁獲量のうち不明のものがあつた漁船については計算の中に入れてないので、必ずしも市場水揚高と一致しないし又調査差れもあると思はれるが、同表により大略の漁況の推移が知られる。

即平均水揚量を見ると3月下旬から4月上旬にかけては同じ傾向を示し中旬や下旬目下は上昇5月に入り更に漁況は好転している。必当り漁獲量は1,000メ以上というが5月上旬に見られておりその他旬は300~500メとなっている。何れにしても本格的な漁は5月に入ってからであり大体1月中旬活況を呈した頃と比べ遜色のない状態を示している。一人一夜当りの漁獲量は3~5月を通じて1月に比べ幾分かっており最高4,17メとなっている。

5月中旬

### 東海漁場

この海域では実際操業が上月下半から中旬にかけてとなっている。漁場は出漁船僅少なためN27°28'40" E124°~126°30'と集中せずに広範囲に浮り点在して形成され操業船も殆んどが各漁場1隻となっているので、これより好漁々場を検討するのは不当であるが、附図・附表よりみて大体に於いて水深100m線附近が良く、これは黒潮と安那沿岸より張り出す沿岸水の混合によつて形成される潮目があるものと思はれ従来操業船によつて主張されて来た安那東海のサバ好漁場要件たる(1)水深100m線附近(2)潮目のある処と云ふことは今何れも変化することなく衰亡されているようである。又この海域での最高漁獲高は4日操業の2,500メで7日普通各船は好漁時では1,000~4,000メの釣獲をみている。然し漁下水となった上可未から中旬初めにかけては200~1,000メ程度の釣獲しかみられていない。水温は20°C~24°Cを示しており、4月下旬の同海域に於ける漁場と比較して1~2°C高温となり、更に水温の上昇に伴い漁場も北上しているのらに覺受せられた。

佐多岬沖合

この漁場は佐多岬灯台S.W線7へ8'からEの方に形成された。5月上旬は前述した如く中小型船の延縄操業により漸次漁況も活況となった。中旬からは支那東海に於ける大型船の操業が不漁となり、屋久島沖合は全く漁なきため自然この漁場に集中するようになり3～4日間操業して2,000メ平均の漁獲を挙げている。最高漁獲高は4500級で4日間操業して4500メで支那東海のものと比較して操業日数は殆んど変わらないが漁獲高では稍々劣っている。然し航海日数は漁場が鹿児島より6～7時間と云う近接したところであるため非常に短縮され、従って操業回数が早く一航海の経費も節減出来、1ヶ月間に5～6航海操業することになる。これは支那東海の1ヶ月3～4航海と比較して総漁獲量に於いては大差なくむしろ上回る成績を収めた船もある。次に、各船共操業日毎の漁獲メ数が判明しているので日別釣獲高々0.5以上の大型サバ船について表示してみた。これよりみて最初の漁獲日9日より漸次上昇線をたどっており、14、5日の満月を過ぎた18日より漁獲の増加に伴い漁況も活況を呈して下旬の最盛期に移った。

操業日	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
日付	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
隻数	1	1	2	2	3	4	6	5	4	4	3	5
計	1,000	3,000	6,000	9,000	14,000	18,500	22,000	22,200	3,100	4,000	3,400	3,800
平均	1,000	3,000	3,000	4,500	4,666	4,625	700	4,400	775	1,000	1,133	760

5月下旬

① 東支那海

前日以来此の海域は不漁となつたが佐多岬沖へ出漁せず大型船の数は7月27～29°E/124～126°の海域で操業しているがサバは網集しても潮流と水温の関係で全く釣獲出来ない有様であつた。

② 佐多岬沖合

前日に引続き漁場は変化なく船船の大部分が集中して操業した。漁獲は漸次上昇線をたどつたがその頂点とも云える今漁期中最も活況を呈した旬で最高漁獲高船は69トン型で4日操業し6,500メを収めており1日最高は3,500メとほつている。又1隻平均も3,062.9メと云う好い漁を示した。海況は水温21～23°Cを示し、刃致もEで瀬村サバ釣獲には格好な条件が備つたようで今漁期中の大率はこの旬の漁獲である。魚体は瀬村のため割合大型であつた。操業日数も水揚げと近接しているため短縮されておられ鮮度の良いものを水揚しているようである。従つて前旬同様操業回転速く大型船では水揚げ日に積込み直ちに出漁し全く休む暇なく操業する船も多くみられた。日別漁獲高よりみて3/日より稍々漁獲は下降に向つた。

操業日	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
旧  厂	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
隻  数	7	7	8	8	6	7	10	10	12	12	11
総  獲	8,800	5,000	3,300	3,500	5,300	8,700	6,600	7,600	12,600	12,900	9,700
平均漁獲	1257.1	714.3	412.5	443.8	883.3	966.7	660	960	1050	1075	881.8

6月上旬

㊶ 東支那海

漁況不振にて出漁船殆んどなし。

㊷ 佐多岬沖合

漁場は依然として変化なく、漁争は1～3日迄の操業で前旬の好漁の延長と云える様な漁獲があったのみで水温の上昇(23～24.5°C)に伴い魚の移動が敏感となり魚も小型魚が多くなり4日以降急激に不漁となって来た。これは単なる海況のみの影響とは考えられず、魚群自体の変動も考慮しなければならぬが例年より早く始った当海域での漁況は海況が平年より温暖な傾向を示しているため時期的に終期に来たのではないかと思われるが原因については不明である。1日漁獲量も200～400yと低下し、操業術も急激に減り一部漁船は再び東支那海の操業に出漁している。又中小型船の一部も宇治草垣方面へ減漁するようになった。なお魚価も漁獲減少で自然高値となっている。然る操業船の収益は5月下旬の最低値の頃の収益とは比較にならず一時休業する船も出てくる。

6月上旬日別釣獲高

操業日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
隻  数	6	1	1	2	1	1	1	2	3	2
計	5,900	600	800	1,000	350	200	200	400	1,150	550
平均	983.3	600	800	500	350	200	200	200	383.3	275

6月中旬

今期も引き続き佐多岬沖合に各船は集中しており東支那海漁場は不振で殆んど出漁船はなかった。しかし5月下旬より悪況を呈した佐多岬沖漁場も梅雨に入ると共に不況となり操業船50～60隻は毎夜100～400貫程度に落ち各船とも不漁を喫した。その間2,3の船は東支那海漁場の27°50'N, 124°40'E附近で12日～17日頃、8,000貫及び6,000貫漁獲しており、魚群の動きが汚染となって来たようで見えて各大型船は此の方面へ移動するようになり中旬末頃には殆んど集中操業し2,000～6,000貫の漁を見ている。又一部29°N, 126°Eで試漁した船もあったが大した漁はなかった。

一方佐多沖の不振と共に草垣宇治群島方面に出漁する船も再び多い時がある。漁況は操業したが豪雨を伴い概して好漁はなく一夜に1,000～3,000貫程度であった。

此の方面の鰯は大型のものが多く、殆んどが35 ~ 40 cm のものさ新種もゴマサバが90 ~ 95%を占めていた。

#### 6月下旬

佐多岬沖合操業船は急激に減少している。東支那海東部漁場では前旬と大差ない漁況を示しており漁場は $27^{\circ}30' \sim 40'N$ ,  $124^{\circ} \sim 125^{\circ}E$ 附近となっている。

水温分布も前旬と大差なく、漁場は集中した形となっている。又漁もようは旧年の6日に入り僅かづつ下降している様である。

1夜最高は2600個で普通500 ~ 1000個程度となっている。

#### 7月上旬

漁場は依然として大差なく集中しており水温は前旬に比し $1^{\circ}C$ 内外上昇している。漁部は大体 $26 \sim 27^{\circ}C$ の水帯に多い様で $28^{\circ}C$ の水温では全く漁獲が見られなかったという例もあった。

一般に漁況は衰え気味で別表を判明する通り下降を続けている。

東支那海漁場の漁況の推移を見ると起伏があり、周期的に好漁の山が現われて来る様で、7月上旬から中旬にかけて漁は漸次不振の傾向を辿り出漁船も上乗時期を控え少なくなった様である。

#### 7月中旬

夏枯期の終了と前後して一部北九州方面を主根拠とするサバ船は濠洲島漁場への魅力にひかれて9月頃より本ラインを突破して操業し、相当の漁を挙げている。9月22日に遂に韓国艦艇による拿捕事件が発生し本県からも串本野船が10月22日との2回に涉り2隻拿捕される結果となり、操業船は再び7月中旬より九州南西海域に出漁し始め漸次漁も好転して行った。然し総体的漁獲量は現在迄の如く、昨年と比較して不振の様である。

次に漁船より報告のあつた7月月中旬から各旬別に漁況を検討してみる。

7月下旬、7月上旬頃1隻当り3000 ~ 4000個の漁獲を挙げているIV  $28^{\circ}-30' \sim 29^{\circ}-00'$ , E  $124^{\circ}-30' \sim 125^{\circ}00'$  附近では今旬も余り変化なく平均漁獲メ数で4471.9と稍々好転した。漁場は水深100m 線附近であり昨年同旬好漁をみたIV  $28^{\circ}-00' \sim 30'$ , E  $124^{\circ}-00' \sim 124^{\circ}-30'$  附近より北東に形成され、この中で最も好漁場であつたのは漁場番号156C IV  $28^{\circ}-40' \sim 50'$  E  $124^{\circ}-50' \sim 125^{\circ}$  であつた。

又昨年の1隻平均5532個の漁獲より約1/100の減獲となっている。この漁場では一夜最高2500個位であるが7月上旬頃より魚群も大型となり、水深での探索は大小の群にかかわらず容易であつたようで集中操業しても魚群の散逸は急速ではなかつた。只群の大きいサバには小サバの混入が非常に多かつたようである。魚体は昨年同期のものとは変化なく120 ~ 130g位であつた。

### 11月上旬

前旬に引続き漁場は人並なく殆んどの漁船が漁場ノ54、ノ55、ノ56、ノ61に集中して操業し前旬より遙るかに好い漁をしている。

即ち隻平均 $6.74$ メでこれは昨年同期の $5.44$ メより $700$ 匁近く上廻っており前旬と比較して $1.700$ メ近く増加している。今旬の操業漁業は東の岸でも形成されたが漁況は活発ではなかつた。最も好漁をみたノ54、ノ55、ノ61の漁場の中でノ61では $100$ モ級のサバ船ノ隻は5日間操業して $20,000$ 匁と云う此の海域での記録を作った。サバの餌付は又2阿以降が深いようで、1夜最高漁獲量 $5,000$ メと云う漁況は数回出現している。屯当り漁獲の平均も $100$ メを突破しており、これ日本軍ノ月上、中旬の漁況に近いものである。操業日数も漁の好態に伴い短縮され操業が順調に行われたことが窺える。なお今旬に限らず去年と比較して各船共操業人員が減少している。これよりみて1人一夜当り釣獲率の少いのは、操業日数が昨年と比較して長いのが窺える。

### 12月上旬

今旬に入って天候に恵まれず操業に困難を来したのか、漁場の変動は余りなかつたのに反して漁率は芳しくなかつた。昨年同期も時化続きで下降線を辿っているのがあるが今年には下降率が激しく平均漁獲高に於いて昨年より約 $900$ 匁少い $3,864$ メと云う前旬よりも非常な減少を示している。これに反し操業日数は逆に長くなっている。今旬は特に好い漁場と云ってなかつた様で稍々ノ3が好かつたと云えるが、この漁場も海脈の出現で魚群の散逸が早く従前のような好漁は見られなかつた。今秋以来最も不振な旬と云えよう、然し昨年の上旬の不振にもかかわらず、下旬以来本格的に盛漁を見たので今後のこの海域での漁況は注目値する。

### 12月中旬

本旬は上旬が不漁であつたためか各船は広範囲に分散して操業し僅かに集中操業した漁場ノ54、ノ55は屯数当りノ30メの好い漁を示し、特にノ54は魚群は大きく1夜 $2,000 \sim 6,000$ メの釣獲をみ最盛は33人の釣手で3.5時間に $4,000$ メを漁獲しており一般にノ54、ノ55は好い餌付があつたようである。これからして旬平均釣獲率はより上昇する筈であるが前記した如く分散操業の結果他漁場は余り好漁に恵まれておらず期待した程の好漁獲率を示していない。この旬の主漁場はノ54とノ55であるが、他で稍々好漁と思われる漁場もノ74、ノ91とあるようである。

昨年同期と比較してみると出漁隻数においてノ5倍の増加、漁獲総量は2倍弱となり従つて屯数当り漁獲量、1人/夜当り漁獲量も夫々増加している。又操業日数は好漁を反映して前旬の12月上旬より平均/日短かく、昨年同期とは0.5日短縮されている。

### 12月下旬

前旬非常に好漁をみた漁場々と各船は集中し、本旬出漁船の約三分の二が操業している。然し同漁場は本旬に入って、海況の変化が海上状況が非常に悪く、海上し

でも浮上時間が短かく、又群が小さく敏感なのか従来はサバは船釣は小刻みに船を移動して魚群を囿ましていたが、この方法を行うと直ぐ釣獲がなくなることである。

然し不漁の傾向を辿りつゝも局部的には割合順調な餌付をみた漁場もあり、普通/夜1500~2300メ最高3000メと云う釣獲もあつた。本旬は出漁船では前旬と略々同数であるが、総漁獲は減少し/隻平均漁獲量では4.0メ少い4934.6を示している。なお昨耳同期と比較すると中旬の場合と逆に/隻平均漁獲で500メ近く減少し其の他石数当り漁獲、/人/夜当りの釣獲高に於いても下廻つている。

又本旬初集中した漁場154と155から離れた漁場の27で操業した船は石当り147.5メと云う好漁をしている。

30年

1月上旬

昨耳と異つた尻下り現象の今耳の漁況は、本旬に入り前旬来下<sup>メ</sup>と成つて来た漁場154と155では操業せずに、各船は魚群を求めて南々東へ移動しN28°線附近で操業しているが漁況は持ち直すことなく、この海域も餌付不良で平均漁獲46/1.5メと前旬より更に悪化している。操業日数は変化なく平均4.6日である。本旬として割合良い漁をした漁場と思えるのは、2/1であるが、これも他の旬では問題にならぬ普通漁となる。なお昨耳同旬とは比較にならぬが一応下表を比べてみた。

耳別	総漁獲高	隻数	/隻平均	操業日数	石当り漁獲	/人/夜当り漁獲	漁場
29	106,400	16	6,650	4.0	116.0	45.1	N 28-00 E 124-00 28-30 124-30
30	59,950	13	4,611	4.6	75.0	26.9	N 27-40 E 125-00 28-00

果して再び下降線を辿つた漁況は、今後好転するか否か、不明であるが昨耳の例でも時化が多くなり、漸次操業困難で不漁となつている。

1月中旬

1月上旬の不漁にかかわらず各船は広範囲の漁場に分散して可成り長期に涉つて操業しているが、殆んど船が1000メ内外の漁争しかなく、好漁々場は全く見当らず、旬平均の/人/日当り釣獲量は6.4メと従来殆んど見られなかつた数値である。

この旬の漁況は黄海からの冷水帯の勢力の影響ようか、従来はサバ漁場は前旬より急激に水温は低下し、昨耳同期と比較すると2.5~3°C低く、この影きようもあつて漁場が形成されなかつたためではないだろうかと思えられる。

1月下旬

黄海より張り出した冷水帯は大陸棚を覆い、この影きようで気潮はやゝ東に押されこの境目にサバ漁場が形成されたが、漁期に入っていないため操業船も少く、漁争は前旬に比較してやゝ好転してはいるが最高漁獲高は4000メであり、又/日/

人当りの漁獲高は前旬の約2倍に上昇しているが、1/5以下で低率と云える。

### 2月上旬

今旬も操業船少く大部分の船は、黒潮と冷水との潮境を目的に前旬より可成り東へ寄った $N29^{\circ}15' \sim 29^{\circ}50'$ 、 $E127^{\circ}$ 附近に出漁し各船は日々長期操業を実施しているが、魚群少いためか漁率は悪く、1/月中旬と同じ傾向を示して1日/人当り釣獲高は8メと低下している。

この様に支那東海のサバ漁況は終場状態となり、1隻が旬末に屋久島一湊沖及び宮ノ浦沖を試漁し2,300メの漁獲をあげ注目された。この海域の水温は $19 \sim 20.5^{\circ}C$ を示して春先のサバ漁獲水温に達しているようで、地元小型サバ船も活況を呈した。

### 2月中旬、下旬

上旬末に支那東海は漁昏無という現象に見舞われ、全く見込なく天候不良もあり、各船は釣れ始めた屋久島一湊沖へ集中して操業している。然し漁獲は余り好くなく、最高漁獲高船で5日間操業の4,500メであった。この海域のサバは瀬村のためか大型魚が多く、魚体は4メノ箱で1,000～1,500円の高値を呼び、待期中のサバ船も支那東海不漁のため屋久島近海へ出漁し始め漸次その動きは活況となって来た。

### 3月上旬

今旬は屋久島近海は操業船の増加に伴い、漁況も活況を呈し、各船3～5日間の操業日数で3,000～5,000メの漁獲を上げている。1人/日当り釣獲高も1舟以降最も好い(旬平均)2,54メとなり、漁場が水揚港から近いため旬内に2航海する船も数隻見受けられた。又旬末の9日には非常に好漁を見て22-00頃より夜明けまで中サバが罕釣で漁獲され屋久島一湊沖で操業した大型サバ船は大部分が当夜一晩で1,000～2,000メの釣獲があった。一方中、小型延縄船は2月末から屋久島近海(屋久曾根)で操業し今旬に入って活況を呈し1航海3～5日の操業で、300～500メの漁獲を続けたが旬末には不漁となり、佐多岬沖へ移動し屋久曾根における漁獲と同じ成績を取っている。魚体は釣船と異なり大型サバのみである。

この延縄船の操業により佐多岬沖は可成りサバ群が多いものと考えられ釣専門船も、1,2隻試漁したようであるが、海水が汚濁してサバ群は集中上昇を見ず漁は殆んど無く、時期的に尚早であることが知られた。

### 3月中旬

一湊沖を中心とする屋久島近海は依然として漁が続ぎ、前旬と同程度の船が集中し、最高漁獲高船は6,000メと変わりないが平均は前旬の3,481メより約9.0%少い2,534メとなっている。又1人/日当りの釣獲高は19.4メと何れも下降しておりこれは3月の屋久島サバは余り続かないと云われているのでそのためと思われる。

一方佐多岬附近に移動したサバ延縄船は依然好調で前旬と変化ない漁率で操業船も

潮位増加し小型船を含め釣船の傾倒し状況を呈したが海況は依然穏静せず釣による漁獲はなかつた。又支那東海 $N27^{\circ}29'E/124^{\circ}12'7''$ にかけては出漁船なく漁獲はなく前旬以来完全に操業は休止状態となった。

今旬鹿児島港における水揚げは漸減に1万メ以上を継続した。

### 3月下旬

一淡沖は開始めぐ好漁を続けたが旬末には不振となり2,000メの漁獲もない状態となった。しかし大型サバ釣船は屋久島永田沖、一淡沖、屋久曾根、粟生沖と漁場を変えることにより、終獲させることよく或る程度の漁を続けた。

一方この漁況不振により大型船は再び支那東海へ出漁も始めたが、今旬に入ると従来の好漁々場となる $N27^{\circ}4'27''30'E/124^{\circ}30'12''50$ 附近は黄海、支那沿岸より張り出した冷水と黒潮の潮境が形成されると云う、海況に悪されたため従来の不漁から急に好漁し漁況を呈し始めた。即ち或る船は釣手35人22日間に5,000メを漁獲しており、今旬に入って東海操業のサバ船は余り漁に思れなかつたが本旬は始めて集中操業を見た然し操業船総本からみた漁は屋久島不振もあり上昇している。

最近支那東海操業の大型船の動きを見ると非常に海況を考慮しているようで、潮目を目標としてこの移動につれて船も動く云う傾向も現れる、これはサバ釣の一方法かとも考えられる。

### (2) 旬別漁場別漁況

漁場を10'平方に区分し旬別に、操業船の沖合に於ける漁況から、次表の如き漁況表を作成した。薩南海域の漁場は従来の概念から例えば佐多岬沖は、B、屋久島一淡沖はAという様に一律に統合して記号を附した。

尚漁況は総て30Ton以上の漁船を対象とし、又沖合に於ける漁況の判明せぬものについては除外した。

旬別	漁場番号	総漁獲メ数	隻数	操業日数	人員	本数	一隻当り漁獲量	本当り漁獲量	一人一夜当り漁獲量	最高漁獲	最低漁獲
3上	102	600	1	8	44	78	600	7.7	1.7		
3下	339	16,000	3	12	124	202	5,300	79.2	32.2		
	234	8,000	2	11	55	96	4,000	83.2	26.1		
4上	376	5,000	1	5	43	59	5,000	84.8	23.2		
4中	375	25,600	9	43	286	505	2,800	50.7	18.6		
4下	459	600	1	5	37	52	600	11.5	3.2		
	376	2,300	1	5	31	48	2,300	47.9	9.6		
	367	17,600	6	32	193	357	2,900	49.3	17.1		

何別	源場番号	総源獲 メ 数	獲 数	操業 日数	人員	毛数	一獲当り 源獲量	毛当り 源獲量	一人一当 り源獲量	最 高 源 獲	最 低 源 獲
5上	384	1.500	4	20	162	320	5.400	67.2	25.7		
	377	2.000	1	2	26	52	2.000	37.5	37.5		
	196	5.500	1	5	41	60	5.500	91.7	26.8		
	191	4.400	1	5	23	35	4.400	125.7	38.2		
	187	4.000	1	4	24	40	4.000	100.0	41.7		
	180	5.500	1	4	35	65	5.500	84.7	39.3		
5中	佐多	25800	13	50	285	463	17846	55.7	23.5	4500	800
	①	2.800	1	8	34	63	2.800	44.4	10.3		
	②	2.000	1	10	34	60	2.000	33.3	9.8		
	178	9.600	3	22	118	204	3.200	47.0	22.2	4600	2.000
	167	6.000	1	4	33	79	6.000	76.0	45.4		
	383	9.500	1	4	42	72	9.500	121.9	56.5		
	422	4.000	1	6	40	64	4.000	62.5	16.7		
	417	2.500	1	2	35	48	2.500	52.0	35.7		
	419	1.000	1	7	38	60	1.000	16.6	3.8		
	402	3.000	1	5	32	66	3.000	45.5	18.8		
5下	B	82.700	27	101	877	1540	3.062.9	53.7	25.2	6.500	1.200
6上	B	39.600	17	52	534	1.000	2.329.4	39.6	24.2	4.800	800
	175	1.900	1	6	31	66	1.900	28.8	10.2		
6月	G	2.600	1	5	45	74	2.600	35.1	11.5		
	F	1.200	1	5	33	80	1.200	15.0	7.3		
	B	1.400	3	15	45	102	4.70	13.5	6.1		
	D	340	1	3	23	60	340	5.7	4.9		
中 旬	364	13.600	2	9	73	133	6.800	102.3	61.0		
	366	4.800	1	3	35	60	4.800	80.0	45.7		
	71	1.000	1	2	35	60	1.000	16.7	14.3		
	361	4.800	1	4	31	65	4.800	73.8	38.7		
	370	2.800	1	5	31	60	2.800	46.7	18.1		
	211	4.000	1	5	26	63	4.000	63.5	30.8		
	391	1.500	1	4	20	57	1.500	26.3	18.8		
6	364	8.400	3	14	101	196	2.800	42.9	17.1		
	211	2.500	1	5	23	35	2.500	71.5	21.8		

月 下 周	371	1.150	1	2	39	75	1.150	15.3	14.7		
	376	3.050	1	4	39	75	3.050	40.6	19.6		
	330	4.500	1	5	31	45	4.500	100.0	29.0		
	377	6.000	1	5	40	61	6.000	98.5	30.0		
	375	1.000	1	2	?	35	1.000	28.6	?		
	180	1.200	1	4	23	60	1.200	20.0	13.0		
	370	2.500	1	5	29	55	2.500	45.5	17.5		
372	2.200	1	6	34	61	2.200	36.1	10.3			
7 月 上 周	175	1.200	1	9	34	45	1.200	26.7	3.9		
	211	4.000	1	5	25	63	4.000	63.5	32.0		
	93	3.200	2	10	55	113	3.200	28.3	14.2		
	176	4.000	1	4	30	45	4.000	88.9	33.4		
	179	6.000	1	4	45	74	6.000	81.2	33.4		
	366	1.200	1	4	25	34	1.800	35.3	12.0		
	364	5.000	1	5	40	72	5.000	69.5	25.0		
179	2.500	1	5	43	78	2.500	32.1	11.6			
11 月 中 周	175	3.500	1	3	35	70	3.500	50.0	33.3	-	-
	158	3.250	1	6	22	48	3.250	67.8	24.6	-	-
	154	8.000	2	10	70	125	4.000	64.0	22.8	4.500	3.500
	160	4.000	1	3	33	64	4.000	62.5	40.4	-	-
	150	5.400	1	6	35	40	5.400	135.0	25.7	-	-
	156	25.000	4	17	135	263	6.250	95.2	44.6	7.400	5.000
	67	6.200	2	9	57	112	3.100	55.8	25.8	3.200	3.000
	188	3.800	1	5	26	57	3.800	66.7	29.2	-	-
	190	8.900	2	7	56	96	4.450	92.7	45.4	4.900	4.000
186	3.500	1	6	22	45	3.500	77.8	26.6	-	-	
11 月 下 周	153	5.600	1	5	31	46	5.600	121.8	36.1	-	-
	165	4.000	1	3	26	45	4.000	89.0	51.3	-	-
	154	19.700	4	17	128	228	4.925	86.4	36.2	6.000	3.200
	160	6.500	1	3	35	52	6.500	125.0	61.8		
	155	18.000	3	9	100	176	6.000	104.0	60.0	8.000	5.000
	161	49.100	6	28	220	415	8.183	118.2	47.8	20.000	4.000
	156	25.000	4	18	140	239	6.250	104.8	39.6	10.000	5.000
	162	8.000	1	4	43	90	8.000	88.8	46.5	-	-
188	1.800	1	1	35	63	1.800	28.6	51.4	-	-	

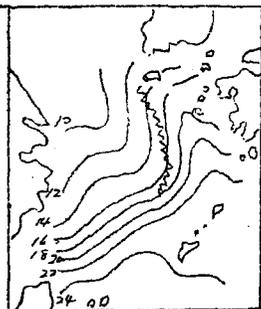
司別	漁場 番号	総漁獲 量	延 日数	採集 日数	採集 人員	延 日数	一延平均 漁獲量	屯当り 漁獲量	一延当 り漁獲量	最高 漁獲	最低 漁獲
11. 下	198	1,500	1	2	28	40	1,500	37.5	26.8	-	-
	187	4,000	1	2	28	40	4,000	100.0	71.5	-	-
	4	2,500	1	4	37	80	2,500	31.2	17.6	-	-
12 月 工 間	336	1,000	1	2	36	27	1,000	37.0	13.9	-	-
	148	3,000	1	1	49	90	3,000	33.3	61.2	-	-
	154	2,800	2	11	66	140	3,900	55.7	21.6	4,600	3,200
	155	2,000	2	10	47	90	3,500	77.7	29.8	4,600	3,000
	161	4,000	1	5	37	64	4,000	62.5	21.6	-	-
	156	17,000	4	21	154	194	4,250	87.7	21.0	5,000	3,500
	187	4,000	1	5	35	64	4,000	62.5	23.0	-	-
	4	2,500	1	1	49	90	2,500	27.7	51.0	-	-
	185	3,500	1	6	36	40	3,500	87.5	16.2	-	-
	186	4,300	1	6	37	45	4,300	95.5	19.9	-	-
12 月 中 旬	160	4,000	1	6	41	90	4,000	44.4	16.3	-	-
	185	4,200	1	4	30	45	4,200	93.3	35	-	-
	190	2,400	1	5	26	46	2,400	52.2	18.5	-	-
	196	8,700	2	8	56	106	4,350	82.1	38.8	5,000	3,700
	334	3,500	1	4	28	66	3,500	53.0	31.2	-	-
	223	3,500	1	6	53	90	3,500	38.9	11.0	-	-
	197	5,000	1	4	33	61	5,000	81.9	37.8	-	-
	191	14,000	2	11	76	149	7,000	93.9	33.4	10,000	4,000
	177	4,000	1	3	34	63	4,000	63.5	39.2	-	-
	174	11,700	2	10	82	130	5,850	90.0	28.5	6,000	5,700
	374	2,000	1	2	35	52	2,000	38.4	28.6	-	-
	364	7,000	2	9	68	105	3,500	66.7	22.9	4,500	2,500
	162	5,800	1	4	43	70	5,800	83.6	34.0	-	-
154	31,500	4	19	133	239	7,625	131.9	49.8	9,000	7,000	
155	21,000	3	12	106	165	7,000	127.1	49.3	9,000	4,500	
161	4,800	1	4	24	71	4,800	67.6	50	-	-	
司合計		133,150	25	111	868	1,548					
司平均				4.4			5.326	86.0	34.5		

12 月 下 旬	154	749.00	16	77	576	981	4685	76.4	27.6	8.000	1.700
	247	9.000	1	5	38	61	9.000	147.5	47.4	-	-
	150	5.400	1	4	35	70	5.400	77.1	38.6	-	-
	155	18.100	3	11	112	154	6.333	117.5	44.1	10.000	1.600
	163	2.700	1	3	38	45	2.700	60.0	23.7	-	-
	156	10.700	2	8	72	105	5.350	101.9	37.2	6.000	4.700
	153	3.500	1	6	33	70	3.500	50.0	17.7	-	-
174	4.000	1	7	33	40	4.000	100.0	17.3	-	-	
旬合計	128.300	26	121	937	1.526						
旬平均			4.6			4934.6	84.0	29.7			
1 月 上 旬	156	2.500	1	4	25	66	2.500	37.9	25.0	-	-
	150	5.000	1	5	33	61	5.000	81.96	30.3	-	-
	211	35.550	7	33	271	435	5.078	81.7	27.8	7.650	3.000
	364	6.500	1	3	48	70	6.500	72.9	45.1	-	-
	397	7.000	2	10	61	85	3.500	82.4	22.9	4.000	3.000
403	3.400	1	5	44	78	3.400	43.6	15.5	-	-	
旬合計	59.950	13	60	482	795						
旬平均			4.6			4611.5	75.0	26.9			
1 月 中 旬	408	1.250	1	6	38	72	1.250	17.4	4.0		
	371	1.480	1	3	36	61	1.480	24.3	13.7		
	378	1.000	1	6	42	90	1.000	11.1	4.0		
	362	1.800	1	3	30	64	1.800	28.1	20.0		
	139	700	1	5	35	60	700	11.7	4.0		
	193	650	1	5	28	46	650	14.1	4.6		
	409	2.500	1	7	34	80	2.500	31.3	10.5		
	206	1.000	1	7	22	71	1.000	14.1	6.5		
	191	2.500	2	11	49	38	1.250	25.5	7.3	1.500	1.000
	397	2.000	1	6	35	63	2.000	31.7	9.5		
	計	14.880	11	66	387	705					
平均			6			1.352	21.1	6.4			

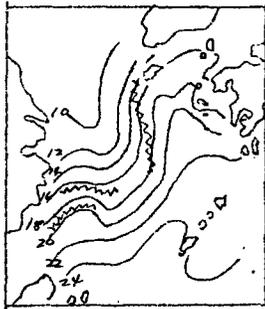
河別	漁場 番号	総漁獲 × 数	隻 数	日数	人員	毛数	1隻当り 漁獲量	毛当り 漁獲量	1人1夜当 り漁獲量	級 漁	高 獲	最 低 獲
1 月 下 旬	89	2,000	1	6	34	70	2,000	28.6	9.9			
	34	6,500	2	20	77	97	3,250	67.0	7.8	4,000	2,500	
	93	4,000	1	4	30	65	4,000	61.6	33.3			
	237	3,000	1	5	30	58	3,000	51.7	20.0			
	計	15,500	5	35	171	290						
平均				7			3,100	53.4	12.3			
2 月 上 旬	109	1,850	2	4	66	107	925	17.3	13.6	1,500	350	
	89	2,100	2	13	34	110	1,050	19.1	5.9	1,600	500	
	95	700	1	8	27	40	700	17.5	3.3			
	99	2,400	1	5	50	45	2,400	53.3	9.6			
	94	2,300	1	5	27	66	2,300	34.9	17.0			
	計	9,350	7	35	224	368						
平均				5			1,336	25.4	8.3			
2 月 中	A	27,300	11	47	344	554						
	平均			4.3			2,482	49.3	18.3	4,500	1,000	
2 月 下	A	10,300	6	25	213	371						
	平均			4.1			1,717	27.7	11.6	2,600	1,000	
3 月 上	A	62,300	18	72	614	1,076						
	平均			4.3			3,461	58.2	25.4	6,000	1,600	
3 月 中	A	48,150	19	74	635	1,111						
	平均			3.9			2,534	43.3	19.4	6,000	1,100	
3 月 下	A	29,900	11	36	370	653						
	平均			3.3			2,718	45.8	16.6	6,000	700	

# 海況 (長崎海洋気象台資料より)

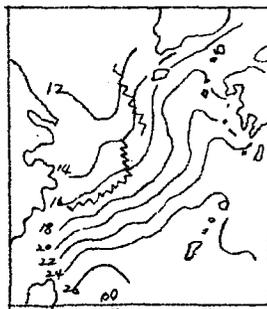
29年4月上旬



4月中旬



4月下旬



5月上旬



5月中旬



5月下旬



6月上旬



6月中旬



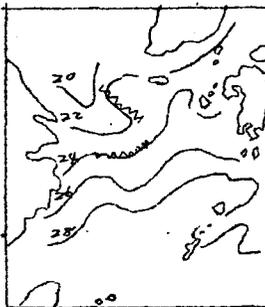
6月下旬



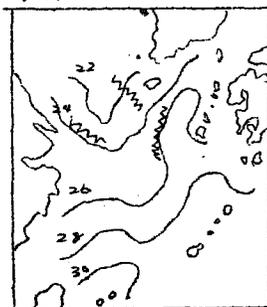
7月上旬



7月中旬



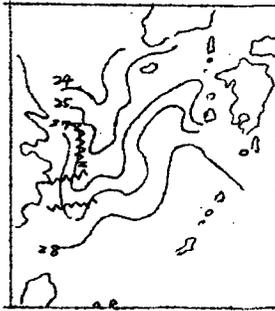
7月下旬



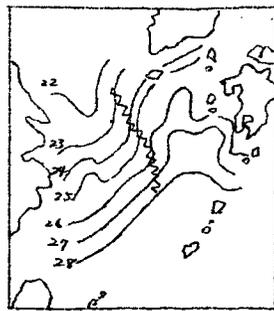
9月上旬



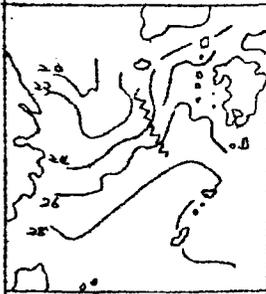
9月中旬



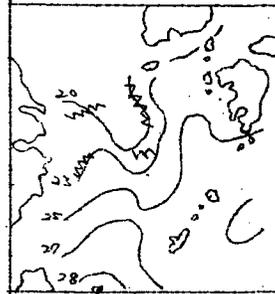
9月下旬



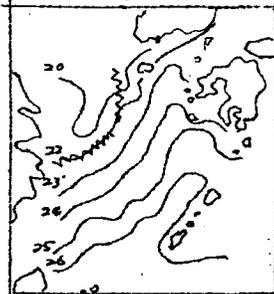
10月上旬



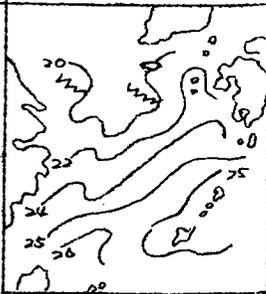
10月中旬



10月下旬



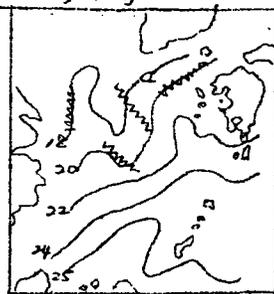
11月上旬



11月中旬



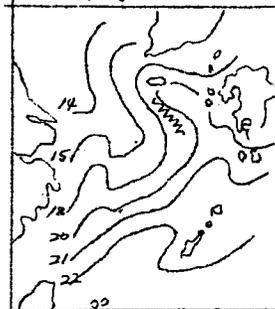
11月下旬



12月上旬



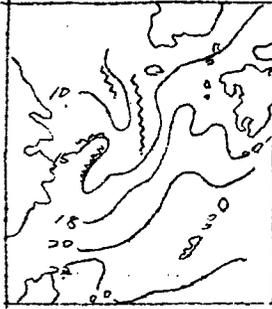
12月中旬



12月下旬



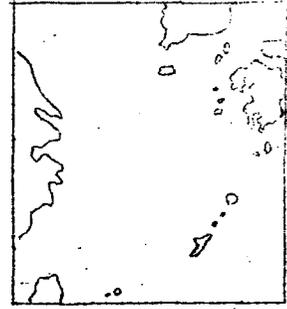
30年1月上旬



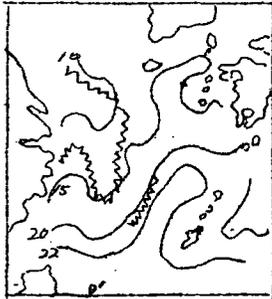
1月中旬



1月下旬



2月上旬



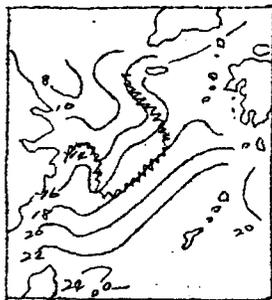
2月中旬



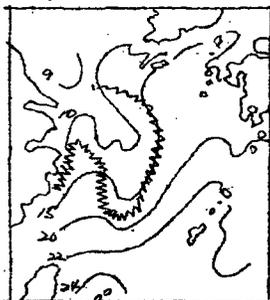
2月下旬



3月上旬



3月中旬



3月下旬





昭和三年五月～三十年五月

鹿児島港に於ける輸水揚量及び奥価

